



修好條規

大日本國

大朝鮮國ト素ヨリ友誼ニ敦ク年所ヲ  
歴有セリ今兩國ノ情意未タ洽子カラ  
サルヲ視ルニ因テ重テ舊好ヲ修メ親  
睦ヲ固フセント欲ス是ヲ以テ日本國  
政府ハ特命全權辦理大臣陸軍中將兼  
參議閔拓長官黒田清隆特命副全權辦  
理大臣議官井上馨ヲ簡ミ朝鮮國江華

府ニ詣リ朝鮮國政府ハ判中樞府事中  
樞都摠府副摠管尹滋承ヲ簡ミ各奉ス  
ル所ノ

諭旨ニ遵ヒ議立セル條款ヲ左ニ開列  
ス

### 第一款

朝鮮國ハ自主ノ邦ニシテ日本國ト平  
等ノ權ヲ保有セリ嗣後兩國和親ノ實  
ヲ表セント欲スルニハ彼此互ニ同等

ノ禮儀ヲ以テ相接待シ毫モ侵越猜嫌  
スル事アルヘカラス先ツ從前交情阻  
塞ノ患ヲ爲セシ諸例規ヲ悉ク革除シ  
務メテ寬裕弘通ノ法ヲ闡擴シ以テ雙  
方トモ安寧ヲ永遠ニ期スヘシ

### 第二款

日本國政府ハ今ヨリ十五個月ノ後時  
ニ隨ヒ使臣ヲ派出シ朝鮮國京城ニ到  
リ禮曹判書ニ親接シ交際ノ事務ヲ高

議スルヲ得ヘシ該使臣或ハ留滞シ或  
ハ直ニ歸國スルモ共ニ其時宜ニ任ス  
ヘシ朝鮮國政府ハ何時ニテモ使臣ヲ  
派出シ日本國東京ニ至リ外務卿ニ親  
接シ交際事務ヲ商議スルヲ得ヘシ該  
使臣或ハ留滞シ或ハ直ニ歸國スルモ  
亦其時宜ニ任スヘシ

### 第三款

嗣後兩國相往復スル公用文ハ日本ハ

其國文ヲ用ヒ今ヨリ十年間ハ添ユル  
ニ譯漢文ヲ以テシ朝鮮ハ眞文ヲ用ユ  
ヘシ

### 第四款

朝鮮國釜山ノ草梁項ニハ日本公館ヲ  
リテ年來兩國人民通商ノ地タリ今ヨ  
リ從前ノ慣例及歲遣船等ノ事ヲ改革  
シ今般新立セル條款ヲ憑準トナシ貿  
易事務ヲ措辦スヘシ且又朝鮮國政府

ハ第五款ニ載スル所ノ二口ヲ開キ日  
本人民ノ往來通商スルヲ准聽スヘシ右  
ノ場所ニ就キ地面ヲ賃借シ家屋ヲ造  
營シ又ハ所在朝鮮人民ノ屋宅ヲ賃借  
スルモ各其隨意ニ任スヘシ

### 第五款

京圻忠清全羅慶尚咸鏡五道ノ沿海ニ  
テ通商ニ便利ナル港口二個所ヲ見立  
タル後地名ヲ指定スヘシ開港ノ期ハ

日本曆明治九年二月ヨリ朝鮮曆丙子  
年正月ヨリ共ニ數ヘテ二十個月ニ當  
ルヲ期トスヘシ

### 第六款

嗣後日本國船隻朝鮮國沿海ニ在リテ  
或ハ大風ニ遭ヒ又ハ薪糧ニ窮竭シ指  
定シタル港口ニ達スル能ハサル時ハ  
何レノ港灣ニテモ船隻ヲ寄泊シ風波  
ノ險ヲ避ケ要用品ヲ買入レ船具ヲ修

繕シ柴炭類ヲ買求ムルヲ得ヘシ勿論  
其供給費用ハ總テ船主ヨリ賠償スヘ  
シト雖モ是等ノ事ニ就テハ地方官人  
民トモニ其困難ヲ體察シ眞實ニ憐恤  
ヲ加ヘ救援至ラサル無ク補給敢テ吝  
惜スル無ルヘシ倘又兩國ノ船隻大洋  
中ニテ破壊シ乗組人員何レノ地方ニ  
テモ漂著スル時ハ其地ノ人民ヨリ即  
刻救助ノ手續ヲ施シ各人ノ性命ヲ保

全セシメテ地方官ニ届出該官ヨリ各其  
本國へ護送スルカ又ハ其近傍ニ在留  
セル本國ノ官員へ引渡スヘシ

### 第七款

朝鮮國ノ沿海島嶼岩礁從前審檢ヲ經  
カレハ極メテ危險トナスニ因リ日本  
國ノ航海者自由ニ海岸ヲ測量スルヲ  
准シ其位置淺深ヲ審ニシ圖誌ヲ編製  
シ兩國船客ヲシテ危險ヲ避ケ安穩ニ

航通スルヲ得セシムヘシ

第八款

嗣後日本國政府ヨリ朝鮮國指定各口  
へ時宜ニ隨ヒ日本高民ヲ管理スルノ  
官ヲ設ケ置クヘシ若シ兩國ニ交渉ス  
ル事件アル時ハ該官ヨリ其所ノ地方  
長官ニ會高シテ辦理セン

第九款

兩國既ニ通好ヲ經タリ彼此ノ人民各

自己ノ意見ニ任セ貿易セシムヘシ兩  
國官吏毫モ之レニ關係スルコトナシ又  
貿易ノ限制ヲ立テ或ハ禁沮スルヲ得  
ス倘シ兩國ノ高民欺罔銜賣又ハ貸借  
償ハサルコトアル時ハ兩國ノ官吏嚴重  
ニ該通高民ヲ取糺シ債欠ヲ追辨セシ  
ムヘシ但シ兩國ノ政府ハ之ヲ代償ス  
ルノ理ナシ

第十款

日本國人民朝鮮國指定ノ各口ニ在留  
中若シ罪科ヲ犯シ朝鮮國人民ニ交渉  
スル事件ハ総テ日本國官員ノ審斷ニ  
歸スヘシ若シ朝鮮國人民罪科ヲ犯シ  
日本國人民ニ交渉スル事件ハ均シク  
朝鮮國官員ノ查辦ニ歸スヘシ尤雙方  
トモ各其國律ニ據リ裁判シ毫モ回護  
祖庇スルコトナク務メテ公平允當ノ裁  
判ヲ示スヘシ

### 第十一款

兩國既ニ通好ヲ經タレハ另ニ通商章  
程ヲ設立シ兩國高民ノ便利ヲ與フヘ  
シ且現今議立セル各款中更ニ細目ヲ  
補添シテ以テ遵照ニ便ニスヘキ條件  
共自今六個月ヲ過スレテ兩國另ニ委  
員ヲ命シ朝鮮國京城又ハ江華府ニ會  
シテ商議定立セン

### 第十二款



右議定セル十一款ノ條約此日ヨリ兩國信守遵行ノ始トス兩國政府復之レヲ變革スルヲ得ス以テ永遠ニ及ホレ兩國ノ和親ヲ固フスヘシ之レカ爲ニ此約書二本ヲ作り兩國委任ノ大臣各鈐印シ相互ニ交付シ以テ憑信ヲ昭ニスルモノナリ

大日本國紀元二千五百三十六年明治九年二月二十六日

大日本國特命全權辦理大臣陸軍中將兼參謀閣員高島嘉左衛門

大日本國特命副全權辦理大臣議院議員上齋



大朝鮮國開國四百十五年丙子二月初百

大朝鮮國大官判中樞府事申穩

大朝鮮國副官都總府副總管尹滋承



